

大リーグが大好き!



向井万起男

素晴らしい本が出た。丹羽政善著『MLB イングリッシュ メジャーリーグを英語のまま楽しむ!』(ジャパンタイムズ)。著者はシアトル在住のジャーナリストで、米国のスポーツを精力的に取材している。

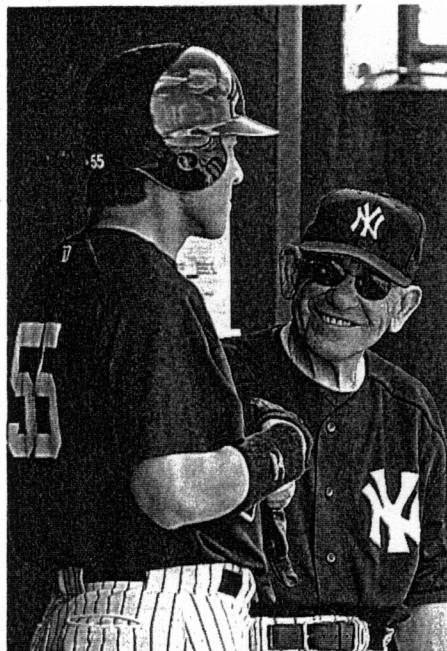
今は、インターネットを利用すれば大リーグの話題や情報を現地からふんだんに入手できる。大リーグのテレビ中継を副音声にすれば現地の実況を聞くことができる。でも、そうするためには英語の壁を乗り越えないとダメ。そこで、この本。素晴らしい指南書なのだ。大リーグに関する基本的英単語を教えてくれたあと、実際のニュース記事の解説もしてくれるし、テレビ中継の見方も丁寧に教えてくれるし、選手へのインタビューの実例も示してくれる。さらに、随所に大リーグの名言まで載せていて嬉しい。

ここで、著者が紹介している名言の中から、「ヨギイズム」について。

1950年代のニューヨーク・ヤンkees黄金時代、ヨギ・ベラという選手がいた。名捕手として球史に残るが、数多くの名言を吐いたことでも球史に残

大学で教育を受ける意味

る。その名言は含蓄に富んでいるようでは、実は当たり前のことにすぎなかつたり、何の意味もなかつたり、単に言葉遣いの間違いだつたりする。でも、面白い。で、ヨギ・ベラ語録は「ヨギイズム」と名付けられ、語り継がれている。



06年のヤンキース春季キャンプで松井秀(左)に声をかけるヨギ・ベラ=A P

幾つか具体例を。「(試合が)終わるまで、(試合は)終わらない」(何となく含蓄ありそうだけど、当たり前の極み)。「ピザは四つに切ってくれ。六つは食べられない」(このナンセンスってたまんないですな)。「もしファンが球場に来ないなら、それを止めることはできない」(言いたいことはわかるけど、言葉の使い方がちょっと違うんだよなあ)

ところで、こうしたヨギ・ベラ語録を中心とした『THE YOGI BOOK』(WORKMAN PUBLISHING)という英語本がある。ちょっとばかり気になる発言が載った本だ。

その発言とは、通算奪三振5714という大リーグ記録を持つ名投手ノーラン・ライアンがヨギ・ベラについて語ったもの。「もしヨギが大学に行っていたら、もっとわかりやすく話すようになったろうけど、もっと面白く話すということにはならなかったろうね」。……大学で学ぶと話がわかりやすくなるだけで面白くはならないなんて問題ですよ。大学で学んだら、それなりに面白く話せるようにならなくっちゃ。そうでなきゃ、大学教育の意味がないでしょ。……そんなことない?

(慶大医学部准教授)